



TITLE:

故 石川興二 名誉教授 著作目録

AUTHOR(S):

経済学会

CITATION:

経済学会. 故 石川興二 名誉教授 著作目録. 経済論叢 1976, 118(3-4): 265-268

ISSUE DATE:

1976-09

URL:

<https://doi.org/10.14989/133664>

RIGHT:

經濟論叢

第118卷 第3・4号

哀 辞

故石川興二名誉教授遺影および略歴

国家独占資本主義論争における国家と社会……………池 上 惇 1

合衆国の大規模農場経営の位置と

その階級的性格(3)……………中 野 一 新 18

「プロシア型」農業進化の構造・序論……………加 藤 房 雄 48

利潤の内部留保, 新株発行を含む

マクロ分配理論……………加 納 正 雄 70

アダム・スミスの国家論……………中 谷 武 雄 83

差額地代論における資本主義的土地所有の形成……………梅 垣 邦 胤 106

追 憶 文

師 を 憶 う……………出 口 勇 蔵 124

故石川興二 名誉教授 著作目録

昭和51年9・10月

京 都 大 学 經 済 學 會

故 石川興二 名誉教授 著作目録

著 (編) 書

精神科学的経済学の基礎問題	弘 文 堂	昭和5 (1930)年
新体制の指導原理	有 斐 閣	昭和14(1939)年
第三の経済学	有 斐 閣	昭和38(1963)年
西田先生による西田哲学への道 (編著)	(自 費 出 版)	昭和42(1967)年

論 文

キャナンの富の概念に就きて(1)	経 済 論 叢	第10巻第1号	大正9 (1920)年1月
キャナンの富の概念に就きて (2・完)	経 済 論 叢	第10巻第3号	3月
経済学不進歩の原因に就きて	経 済 論 叢	第10巻第4号	4月
人格主義の立場に於ける経済と 人生の一考察(1)	経 済 論 叢	第10巻第6号	6月
収穫逓増減の諸観点	経 済 論 叢	第11巻第2号	8月
人格主義の立場に於ける経済と 人生の一考察 (2・完)	経 済 論 叢	第11巻第4号	10月
将来の産業的指導者としての日 本及び其他の諸国	経 済 論 叢	第11巻第5号	11月
正常需要及供給の動的考察と時 の要素	経 済 論 叢	第12巻第1号	大正10(1921)年1月
経済学の根柢をなす公益的精神 に就て	経 済 論 叢	第24巻第1号	昭和2 (1927)年1月
経済学の一部門としての経済学 本質論の意義に就て	経 済 論 叢	第25巻第4号	10月
アダム・スミス「富国民論」の 基本的考察	経 済 論 叢	第25巻第6号	12月
アダム・スミス「富国民論」の 研究対象並に方法の基本的考 察	経 済 論 叢	第26巻第1号	昭和3 (1928)年1月
経済学史基礎論	経 済 論 叢	第29巻第2号	昭和4 (1929)年8月
ディルタイ哲学と経済哲学(1)	経 済 論 叢	第32巻第4号	昭和6 (1931)年4月
ディルタイ哲学と経済哲学(2・ 完) —ディルタイの精神科学 の哲学の体系と其経済哲学的 意義—	経 済 論 叢	第33巻第2号	8月
経済学の認識主観としての実践 哲学者	経 済 論 叢	第34巻第1号	昭和7 (1932)年1月

マルクスに於ける精神科学的方法	経 済 論 叢	第34巻第4号	昭和7(1932)年4月
思想対策批判—我国現代の社会問題の意義と思想対策—	経 済 論 叢	第34巻第6号	6月
変革期の社会政策	経 済 論 叢	第35巻第2号	8月
安定期経済学と変革期経済学	経 済 論 叢	第35巻第5号	11月
現代社会問題より見たる琉球—現代社会問題研究の基礎としての国民性研究の一考察—	経 済 論 叢	第35巻第6号	12月
琉球農村共同体と我国民理想としての『国民共同体』—国民性に基く現代社会問題の一考察—	経 済 論 叢	第36巻第1号	昭和8(1933)年1月
ヘーゲル史観の実践的構造(1)	経 済 論 叢	第36巻第4号	4月
ヘーゲル史観の実践的構造(2・完)	経 済 論 叢	第36巻第5号	5月
経済本質論(1)	経 済 論 叢	第37巻第1号	7月
市民主義・国家主義・国民主義	経 済 論 叢	第37巻第4号	10月
経済本質論(2)	経 済 論 叢	第37巻第6号	12月
ヘーゲル市民社会論と経済学	経 済 論 叢	第38巻第1号	昭和9(1934)年1月
満洲問題と国民主義	経 済 論 叢	第38巻第6号	6月
経済学史の基本問題	経 済 論 叢	第42巻第1号	昭和11(1936)年1月
経済学史の基本問題(下)	経 済 論 叢	第42巻第5号	5月
現代の「生の哲学」としての経済哲学—その概念と課題と立場—	経 済 論 叢	第42巻第6号	6月
革新原理としての「民有国用」に就いて—電力国策に現れたる経済的革新原理—	経 済 論 叢	第43巻第2号	8月
新国民主義の立場	経 済 論 叢	第43巻第4号	10月
新国民主義の立場(下)—その学史的考察—	経 済 論 叢	第43巻第5号	11月
新国民主義と国民共同体	経 済 論 叢	第44巻第1号	昭和12(1937)年1月
国民生命史観	経 済 論 叢	第44巻第3号	3月
国民生命史観の諸問題	経 済 論 叢	第44巻第4号	4月
『維新の詔』に於ける変革の国是	経 済 論 叢	第44巻第5号	5月
現代変革期に於ける日本国民経済学の意義	経 済 論 叢	第45巻第1号	7月
国民共同体の人間学的基礎	経 済 論 叢	第45巻第2号	8月
「民約論」に於ける共同体思想	経 済 論 叢	第45巻第5号	11月

共同体の人間学的考察	経 済 論 叢	第46巻第1号	昭和13(1938)年1月
共同体思想の国民的性格	経 済 論 叢	第46巻第3号	3月
共同体思想の国民的性格(下)	経 済 論 叢	第46巻第4号	4月
共同体思想の生的基礎	経 済 論 叢	第46巻第6号	6月
日本国民経済の根本性格	経 済 論 叢	第47巻第2号	8月
経済学の発展と新日本経済学の性格	経 済 論 叢	第47巻第5号	11月
戦争の意義と共同体の国内革新の急務	経 済 論 叢	第47巻第6号	12月
日本共同体経済学の建設者佐藤信淵	経 済 論 叢	第48巻第1号	昭和14(1939)年1月
日本経済学の根本原理	経 済 論 叢	第49巻第1号	7月
社会問題と国民的性格	経 済 論 叢	第49巻第2号	8月
現代日本の革新	経 済 論 叢	第49巻第3号	9月
日本経済理論に於ける主体性の発展	経 済 論 叢	第50巻第3号	昭和15(1940)年3月
非常時局下に於ける日支の態勢	経 済 論 叢	第50巻第5号	5月
新体制の原理と政治経済	経 済 論 叢	第51巻第5号	11月
現代日本の危機と経済学	経 済 論 叢	第52巻第2号	昭和16(1941)年2月
東亜の新体制について	経 済 論 叢	第52巻第5号	5月
現代世界学としての日本学の根本理念	経 済 論 叢	第53巻第3号	9月
長期総力体制の確立と「いへ」の論理	経 済 論 叢	第53巻第6号	12月
大東亜戦争の世界史的意義	東亜人文学報	第2巻第1号	昭和17(1942)年3月
世界的論理の転換者日本	経 済 論 叢	第55巻第2号	8月
大東亜日本の確立と ^{***サ} 大家の論理	経 済 論 叢	第55巻第4号	10月
創造的世界経済学序説—その課題と論理について—	経 済 論 叢	第80巻第4号	昭和32(1957)年10月
創造的世界経済学の世界史的基礎(1)—原子力時代の経済学の課題と論理について—	経 済 論 叢	第81巻第2号	昭和33(1958)年2月
創造的世界経済学の世界史的基礎(2)—自由・平等・博愛の世界経済学—	経 済 論 叢	第81巻第4号	4月
今日の経済学の哲学	経 済 論 叢	第84巻第4号	昭和34(1959)年10月

エッセイ・その他

晩年のマーシャル先生を訪れし頃の思ひ出	『社会科学』特集マーシャル研究, 改造社	大正15(1926)年1月
晩年のマーシャル先生を訪れし頃の思ひ出	彦根高等商業学校商業及経済研究会パンフレット 第1号	大正15(1926)年3月
教育の意義と学制改革の四綱領に就て	同 上	同 上
谷口吉彦兄と当時の学部	経 済 論 叢 第79巻第3号	昭和32(1957)年3月
彦根高商時代の思ひ出	『陵水三十五年』彦根高商35周年記念, 滋賀大学経済学部	昭和33(1958)年11月
白杉さんと私	『白杉庄一郎博士追悼論文集』学生刊行委員会	昭和37(1962)年3月
ドイツ生活を共にした田辺先生の思ひ出	『田辺元全集』第2巻月報 筑摩書房	昭和38(1963)年12月
河上先生の墓	『河上鑒著作集』第8巻月報 4 筑摩書房	昭和39(1964)年9月
西田哲学と経済学 (下村寅太郎編『西田幾多郎』岩波書店, 昭和46年12月に再録)	『西田幾多郎全集』第14巻付録 岩波書店	昭和41(1966)年3月
人文社会諸学の改善と西田哲学	京都女子大学「人文論叢」	昭和41(1966)年4月
石川興二先生の巻	『思ひ出草』京都大学経済学部	昭和44(1969)年7月

あ と が き

石川興二先生の著作目録を作成するにあたって, 多くの方々の御協力をいただいた。御遺族をはじめ, 出口勇蔵(本学)名誉教授, 桑原晋(日本大学)教授, 杉原四郎(甲南大学)教授, 松尾博(滋賀大学)教授, 葛西孝平(京都教育大学)教授, および本学部資料室の方々に, 厚く御礼申し上げる。なお, 著作目録のうち, 新聞などへの寄稿文は割愛したことを, お断わりしておきたい。

著作目録作成者 平 井 俊 彦